

## 順天堂練馬病院 分娩時鎮痛マニュアル(公開用)

### 1. 事前準備

- 周産期麻酔外来での診察記録を確認し、患者さんの情報を把握します。
- 麻酔方法について説明します。

### 2. 硬膜外カテーテルの挿入

- 分娩が進む前に、硬膜外カテーテルを挿入します。
- 計画無痛の場合、分娩誘発の前日に行います。

### 3. 麻酔の開始

- 分娩が進行し、母子に異常がなく、産婦人科医の許可が得られたら麻酔を開始します。

### 4. 麻酔中の管理

- 麻酔中は麻酔科医や助産師が定期的に回診し、母体の状態や痛みの程度を確認し、麻酔薬の量を調節します。
- 分娩後、麻酔薬の投与を中止します。

### 5. 分娩翌日の管理

- 分娩翌日には血液検査を行い、歩行に問題がないことを確認してカテーテルを抜去します。また、頭痛や神経学的異常や、カテーテル挿入部の異常の有無などを確認します。
- 無痛分娩に関するアンケートをお渡しします。

### 6. 使用する薬剤

- 局所麻酔薬と医療用の麻薬を組み合わせたものを使用します。

### 7. 麻酔中の注意事項

- 麻酔中はベッド上で安静にし、清澄水のみ飲むことができますが、食事は控えてください。状況によっては飲食が禁止されることもあります。

更新日;2025年5月